



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 齋藤 庄司
編集者 沢田 光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2013.9.10 第1461号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入ってます」

第7回地方本部組織拡大対策会議

目的意識的に拡大に取り組み

拡大のキーワードは職場・仕事

第27回国労東日本本部定期大会が花巻市・ホテル志戸平に於いて開催された8月10日、青森駅連合分会で57歳の仲間が東労組から国労へ復帰してくれました。本年1月、3月に引き続き、3人目の拡大であります。こうした中で地方本部は8月31日・9月1日、盛岡市繁温泉・清温荘にて「第7回組織拡大対策会議」を開催しました。

我々の積極的投げ掛けが必要

会議は小林良宏執行副委員長の開会挨拶で始まり、座長に齋藤庄司執行委員長を選出。齋藤委員長は執行委員会



＝38人の参加で意思統一を図った＝

に立った運動を進めてきたのが国労であり、ここに他労組との違いがある。組織拡大に向けたさらなる意思統一を」と挨拶。

先の大会で新たに東日本本部執行副委員長に選出された宮崎浩則氏(東京地本)が参加し、東日本本部の組織現状と課題について「会社や現場長の対応に違いも見えてきているが、国労側が求めないと動きはない」ということが言える。会社、他労組の変化をきつちりと認識した取り組みの強化が必要。組織拡大と労働条件改善は密接不可分。分会機関活動の活性化が改めて求められていると訴えました。

当面の主な日程

- 9月24日(盛岡) 第12回地方本部執行委員会
9月28日(盛岡) 第2回地方本部ボウリング大会
10月11日・12日(盛岡) 分散会報告

のこ息であり、国労加入は私達にとっても心から歓迎をするものであります。宮崎さんは自身の加入決意について「他労組攻撃を主とする組合活動に矛盾を感じ、国労加入を決定した」としています。菊池要悦組織部長からの当面する取り組みと分散会提起を受けて、議論へ。今回の分散会①取り組みが進んでいる分会②リストアップに向けて準備段階の分会③活動の活性化に重点を置く分会④の3つに分かれ、より突っ込んだ議論が行われました。2日目の全体交流における

組織拡大にむけ心新たに

秋田地方本部 宮崎 和孝



今回参加し思った事です。皆さんは、「組織拡大、組織拡大」と、必要以上に使命感を感じすぎて、必要以上に

第69回定期地方大会
10月26日・27日(東京) 第26回東日本本部家族総会
10月27日(青森) 第56回青森支部定期大会
11月16日(盛岡) 第35回盛岡支部定期大会

考えすぎているように思えます。それが故に、「実際、若手などのように声を掛けられたいか?」とか、「若手が来た後に、守れるだろうか?」等々、アクションを起こす前に、考えすぎてしまっ、何も起こせない袋小路に陥つる方も多いのでは?と見受けられました。

千葉信吉予定候補(組織内)の議席確保に組合員の協力を

一関市議会議員選挙(定数30)が9月22日(日)告示・同月29日(日)投票で施行される。同選挙にはすでに速報版で



度」が良くないと云っている先輩方がいらっしやいます。私が思うに、「人というものは、相手に敬意を覚えれば、自然と頭が下がらるものである」と思います。

最後に、皆さんが頑張つて、10年後、20年後も今回と同じくらいの熱気と、人数で、会議が開催される事を心より、希望します。私も、皆さんから頂いた「熱気」と「魂」で、秋田の組織拡大に力を注ぎ、10年後、20年後も秋田・盛岡で交流会や会議で盛り上がりていきたいと、心を新たにしました。

2012年度地方本部機関紙コンクール応募作品募集

＜応募方法＞ 昨年7月1日～本年8月31日までに発行した各級機関紙・応募票を添付すること。
＜応募締切＞ 2013年9月30日(月)
＜審査＞ 地方本部教宣部
＜表彰＞ 最優秀賞1、優秀賞1、佳作若干とし、第69回定期地方大会で記念品を添えて表彰予定。



訂正とお詫び
8月23日付速報版一関市選挙関係リード記事に誤りがありました。文中の「9月22日の第11回執行委員会」は誤りであり、「8月22日の第11回執行委員会」に訂正しお詫び致します。

先日のニュースで、産業競争力会議の中で雇用維持型から労働移動支援型へシフトする方針が打ち出されていることが報じられた。雇用維持が中心だったこれまでの雇用政策から、産業構造の転換に合わせた失業なき労働移動への転換を図るといふ。従業員を解雇せず一時的に休業させた企業を支援する「雇用調整助成金」は縮小し、一方で成熟産業から成長産業への労働力移動を支援する「労働移動支援助成金」を強化する方向だ。また、労働者派遣制度の在り方についても見直しの動きがあり、業務区分の廃止、無期雇用派遣の期間制限対象除外、有期雇用派遣の3年超可能が言われている。1995年の5月、経団連は「新時代の日本の経営」を提起し、「長期蓄積能力活用型」「高度専門能力活用型」「雇用柔軟型」の3つにグループ化して労働力の「弾力化」「流動化」を進め、総人件費節約と「低コスト化」を図ることとした。それから約20年、日経新聞によると非正規労働者は38.2%・2043万人にのぼるとしている。ドライな雇用関係は冷徹な社会を創り出し、職場における人間関係にもその端緒が露わとなっている。藤沢周平の作品に「義民が駆ける」というのがある。理不尽な三方国替えに領民が決起し結果として国替えを差止めたという、大衆が時の執権に一矢を報いた物語である。一人一人の力は小さいが、それが束ねられた時大きなものとなる。政治もまた然りである。来た一関市議選に千葉信吉さんが立候補を決定した。全組合員の支えの下、安心して生活できる社会の実現を共にめざそう(要)

# 被爆68周年 原水爆禁止世界大会 (8月4日~9日)

▼原爆ドームを後に参加者で記念撮影する岩手県代表団・広島



▶広島赤十字病院 説明を受ける 岩手県代表団・広島

## ノーモア 広島・長崎・福島



◀青森の代表団8人も 元気に進行・広島  
盛岡家族会の折り鶴を▶ 捧げる佐々木会長・長崎

### 広島・長崎大会

#### 学んだこと経験を子どもたちは 大人になっても忘れないでほしい

盛岡支部執行委員長 佐々木研司

被爆68周年原水爆禁止世界大会広島・長崎両大会に岩手県代表団の団長として参加してきました。代表団は広島大会には小中学生9人を含む24人が参加し、長崎大会は8人の参加、内2人が小学生でした。広島大会の1日目の午前中は参加者全員での学習会というところで、講師に平野貞勇さんを迎え「被爆者体

気がついたりときには衣服がくすぶりお互いに消しあつた事、家まで帰る途中で見たこの世とは思えぬ光景、お母様の献身的な看病、しかし薬の副作用は胡瓜の汁という壮絶な闘病生活、就職後もケロイドで苦労して来たこと等を自分で書いてきた絵で説明されました。子供たちは真剣にその話を聞き、メモを取っていました。平和記念館では様々な展示物を見ていましたが、特に佐々木禎子さんの展示を見て同年代の彼女が最後の最後まで諦めず折り鶴を折り続けたいことを知り、様々な事を感じたようでした。長崎大会では「高校生1万

人署名活動」の岩手県代表の9人の皆さんと交流することができました。「私達には、まだ希望が残されている。微力ではあるが、無力ではない」を合言葉に活動を続け、岩手県の2人を含む代表者20人は「高校生平和大使」としてジュネーブに向かい全世界に平和を訴えます。この素晴らしい活動を、高校生たちは部活動とは別に自分から進んで取り組んでいることを驚かされました。

「きっかけは？」と私の問いかけに、「先生が指導してください」という返事が返ってきたとき、私たちが小中学校の頃の先生方は、いかに戦争が無意味で悲惨なものかということ、機会あるたびに話していたなと思いが出しました。広島大会の最終日、平和公園で黙祷した後、そして長崎での高校生との話の中で、私は「今回この広島(長崎)で学んだこと経験したことを大人になっても忘れずに平和な日本を守る大人になってください」と子供たちにお話ししました。私も今まで以上に平和運動、核兵器の廃絶、脱原発、護憲の運動を取り組み、平和な日本を守り引き継ぐことと決意を新たにしたいと参加しました。

### 広島・長崎大会

#### 見聞を広められた広島・長崎 家族会の折り鶴も両地に捧げる

地方本部家族会会長 佐々木香代子

広島大会では平和記念資料館を見学、折り鶴平和行進に参加し、広島赤十字原爆病院へ平環センターが取り組んだカンパをお見舞金として届け、院長から患者さんたちの現状をお聞きすることができました。全国からの千羽鶴が寄せられる「原爆の子の像」、外傷がなくても、被爆から10年前後に白血病になる子どもが大勢いて、亡くなった子の霊を慰める為に建てられた「像」の周りに、全国からの折り鶴が捧げられ、一閃地区で取り組まれた折り鶴も捧げられました。毎年家族会もお願いしていました。今年も家族会と星あつこ後援会の合作の折り鶴は長崎の慰霊碑に捧げて参りました。分科会は「福島の実状と課題」に参加し、未だ収束していない現状と県民の健康管理は国が責任をもって行うべきだということを感じました。長崎大会では全国の高校

生が取り組んでいる「高校生1万人署名活動」の皆さん、「私達には、まだ希望が残されている。微力ではあるが、無力ではない」とのメッセージに感動を受けました。代表者20人は「高校生平和大使」としてジュネーブの国連本部に署名を届け、スピーチも予定されています。世界各国の被爆者とも交流しているとのことでした。彼ら彼女らの運動を大きく育てて行く為に募金を応援して行きたいものです。分科会は「世界の内部被爆を考える」を選択し、原爆子爆弾を作るためのウラン採掘現場で労働者が何もしられず内部被爆させられた事や、汚染水、自然破壊、アメリカの被爆者保護法などに関心しました。昨年までは原爆投下時間にテレビの前で黙祷していましたが、現地では黙祷し、見聞を広められた事は私にとっては生涯に残る学習旅行となりました。

### 広島大会

#### 国民の暮らしと安全を最優先 脱原発のエネルギー政策求める

青森支部書記次長 田崎 秋弘

原水禁青森県代表団として8月4日から6日まで広島市の平和公園を中心とした会場において原水禁世界大会と平和記念式典に参加してきました。初日の4日は、青森県内

から集まった色とりどりの平和の思いが込められた折り鶴を持ち広島市の平和公園から2キロ離れた県立体育館まで全国から参加した各県代表者と共に核廃絶と平和の祈りを込めたシュプレヒコールで訴

えながら折鶴平和行進し原水禁世界大会・広島大会開会総会に参加しました。開会総会では、原爆によりこれまでに亡くなられた御霊に黙祷を捧げた後、広島県被団協の柳川良子さんから学生のころ自身が被爆した悲惨な体験を聞き、今の私たちが平和で生活できるのは、戦争によって全てを奪われても次の世代に命を繋ぐために努力を重ねてきた先人たちのお陰だと思えました。

2日目は、中国新聞社ホーテルで「脱原子力・福島原発事故の現状と課題」の分科会に参加しました。医師の振津かつみさんから原爆被爆者の健康管理やチェルノブイリ事故被災者など世界のヒバクシャとの交流を通じ3・11以降福島第1原発で働く労働者の劣悪な労働実態と被ばく線量限度に達してしまう現状が報告されました。私は、原爆事故により罪のない人々が被爆し、いわれの

ない風評被害や差別に苦しむ事が理不尽でたまりません。去年の夏も猛暑であったが、節電や工夫をして停電なく乗り越えることができました。原爆からの電力供給がなくなっても電力が不足することはありませぬ。脱原発が可能なことが明らかになった今、再生可能エネルギーに一刻も早く切り替えるべきです。また私たちは、必要な分だけ電力を大切に使う事も求められていると思います。

3日目6日は、朝8時から広島市主催の平和記念式典に参加しました。強い日差しと34度の暑さの中、原爆犠牲者の御霊に鎮魂の祈りを捧げました。松井広島市長は、平和宣言で「心身の傷や差別、偏見に苦しむながら復興を支えてきた被爆者の姿」テーマに被爆者5人の体験談を引用し、核兵器は非人道兵器の極みであり「絶対悪」と否定しました。今大会に参加し戦争の悲惨さ、被爆者の苦しみや悲

しみを聞く事によって平和の大切さが分かりました。原水禁世界大会・広島大会参加のため多くのカンパを取り組んでくれた事に感謝し、安心して生活するために平和と脱原発に向けて先頭に立って運動を強化して行きたい。なお、参加した青森県代表団は青森平和労組協議会が中心で8人。国労からは1人が参加しました。長崎大会に2人がつづけて参加しました。

上記適用金利お取り扱い期間>> 【有担保】 2013年4月1日から2014年3月末お申込み分まで 【無担保】 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで